

# オープンデータシンポジウム2016 開催報告

2016.11.28

オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構（VLED）  
事務局



作者自らが作成した図表等（出典やURLの記載のないもの）については、[CC BY \(表示2.1\)](#) で利用可能です。  
出典やURLの記載がある図表等については、著作権法に基づいてご利用ください。

# 1. 開催概要

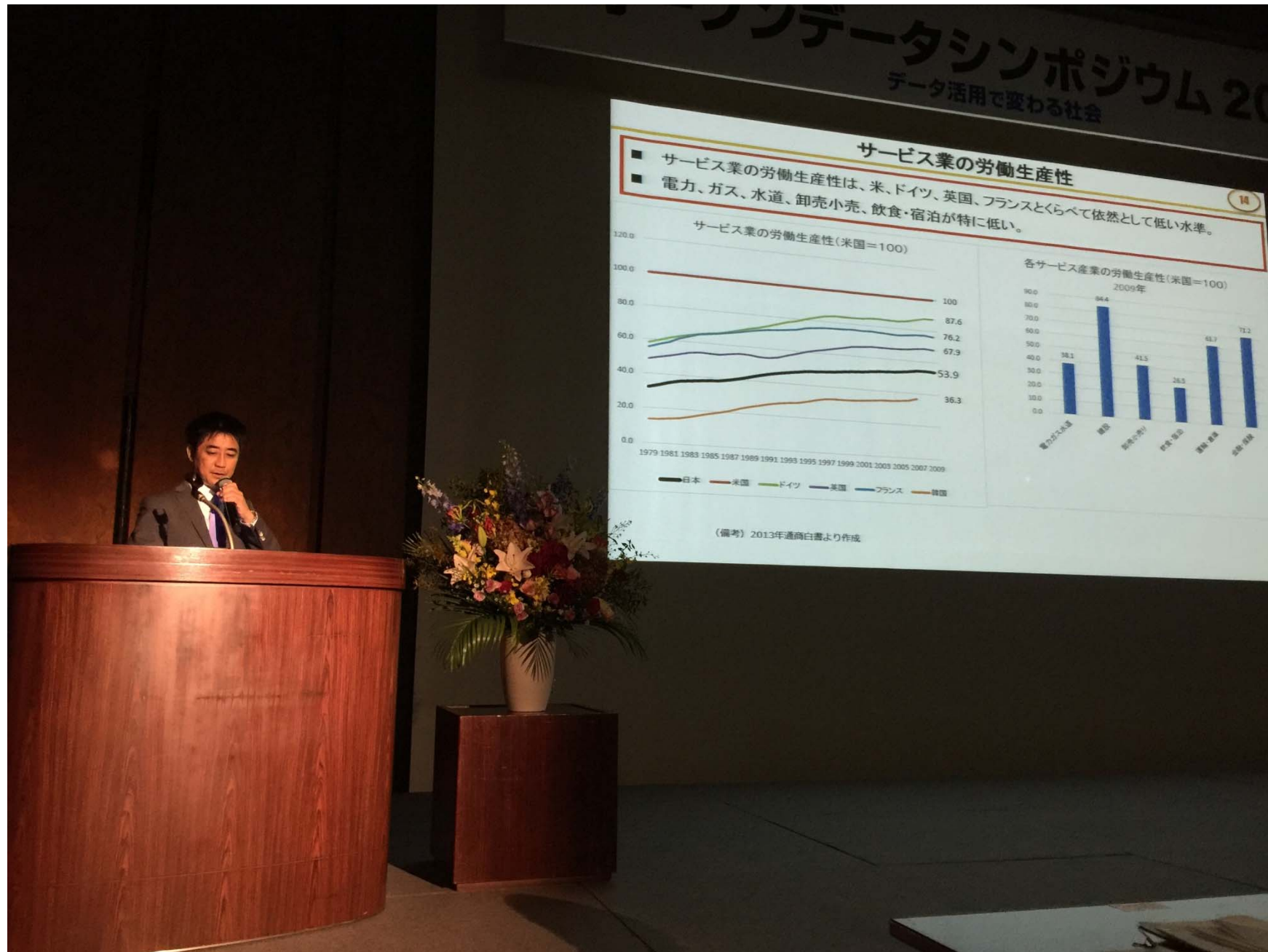
## オープンデータシンポジウム2016 データ活用で変わる社会

開催趣旨	オープンデータを含むデータ活用が今後社会をどのように変えていくかを、政府の取組や未来社会像、スポーツやシェアリングエコノミーとデータ活用の関係など、様々な観点から紹介。
開催日時	2016年10月21日（金） 13:00～17:15
会場	神戸国際会議場（3F国際会議室）
主催等	主催 一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構（VLED）、総務省
	協力 神戸市
	後援 一般社団法人Open Knowledge Japan、一般社団法人Code for Japan、一般社団法人Open Corporates Japan、公共交通オープンデータ協議会
対象者	オープンデータやデータ活用に関心がある行政関係者、企業・団体など
参加費	無料
参加者数	106名（うち自治体関係者54名）
備考	国際セマンティックウェブ会議（ISWC）（10/17（月）～21（金））にあわせて開催。Youtubeによるネット配信及びアーカイブ化。

## 2. プログラム

時刻	テーマ	登壇者
13:00	開会	
13:00-13:05	開会挨拶	総務省 近畿総合通信局長 関啓一郎氏
13:05-13:15	神戸市長挨拶（ビデオ）	神戸市長 久元 喜造氏
13:15-13:45	データ利活用による地方創生	総務省 政策統括官（情報通信担当） 今林 顯一氏
13:45-14:30	オープンデータが創る未来社会	VLED理事長 坂村 健氏
14:30-15:00	データ活用時代の公民連携	神戸市 企画調整局 創造都市推進部 ICT創造担当課長 松崎 太亮氏
15:00-15:10	休憩	
15:10-15:20	VLEDの活動紹介	VLED事務局
15:20-15:50	スポーツにおけるデータ活用の可能性	公益社団法人日本プロサッカーリーグ 事業・マーケティング本部 本部長 出井 宏明氏
15:50-16:20	シェアリングシティとデータ活用について	国際大学GLOCOM 准教授・主任研究員 庄司 昌彦氏
16:20-17:05	データ活用で変わる社会 （パネルディスカッション）	神戸市 企画調整局 創造都市推進部 ICT創造担当課長 松崎 太亮氏 公益社団法人日本プロサッカーリーグ 事業・マーケティング本部 本部長 出井 宏明氏 国際大学GLOCOM 准教授・主任研究員 庄司 昌彦氏 総務省 情報流通行政局 情報流通振興課 企画官 渋谷 闘志彦氏 進行：VLED事務局（三菱総合研究所） 村上 文洋氏
17:05-17:15	地方公共団体の取組支援策について	内閣官房 情報通信技術（IT）総合戦略室 企画調査官 龍澤 直樹氏
17:15	閉会	

### 3. 開催風景



### 3. 開催風景







### 3. 開催風景





### 3. 開催風景

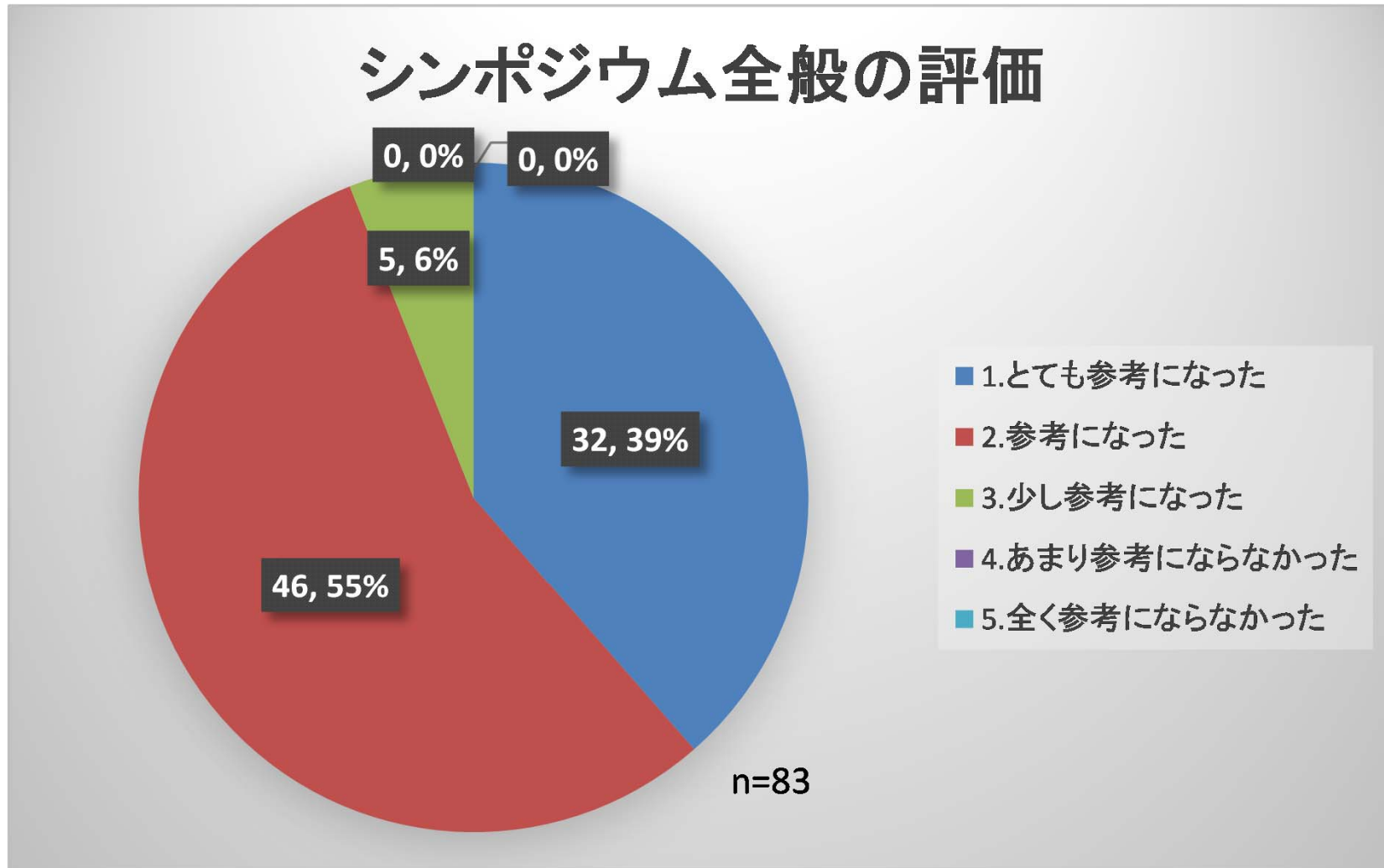




### 3. 開催風景

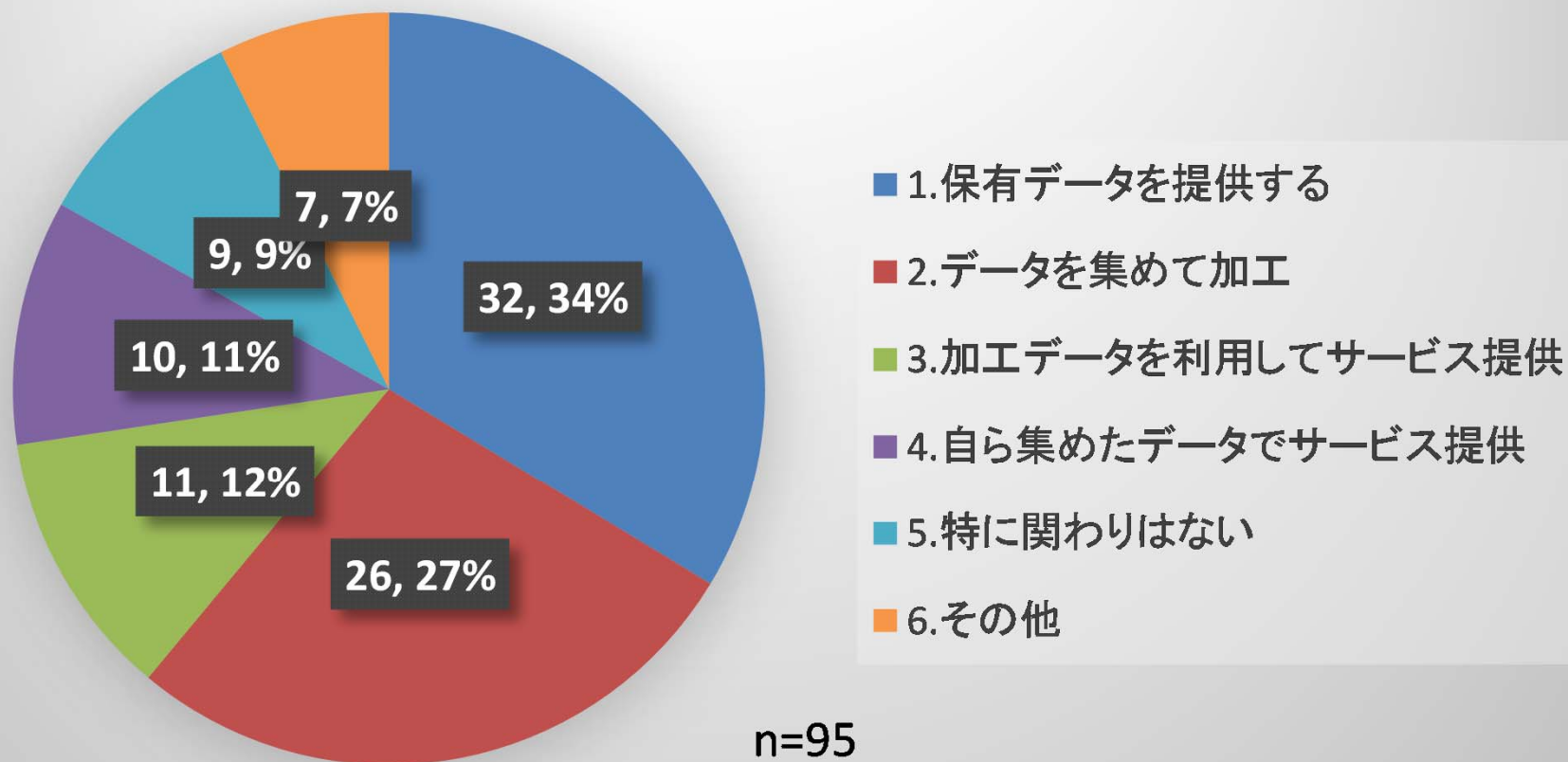


## 4. 参加者アンケート結果



## 4. 参加者アンケート結果

### オープンデータとの関わり





## 4. 参加者アンケート結果

<b>参考になった 情報</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・神戸市の取組、自治体内部の人材育成のやり方、オープンデータについて自治体がどのように考えて取組むかという考え方。</li><li>・IoT、マイナンバーカードの活用などを踏まえた、オープンデータの活用の可能性。</li><li>・オープンデータの活用成果を急いでしまうが、まず出す（オープン）ことの大切さ。</li><li>・具体的なオープンデータの利活用イメージ。</li><li>・スポーツへの応用、新鮮さがあり、多様な可能性を秘めているように感じた。</li></ul>
<b>もっと詳しく 知りたい情報</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・シェアリングエコノミーについて、法的規制の緩和の可能性、実態。</li><li>・様々な分野での具体的なデータ活用事例。</li><li>・オープンデータ利用提供に当たっての危険性とその対策。</li><li>・小規模自治体でこのようなことをやるにはどうしたらいいのか。</li><li>・オープン化後のデータのメンテナンス（無条件に更新を続けるべき？）。</li><li>・データ利用者側として自治体はどのような取組をしていくべきか。</li><li>・地方自治体での組織作り、予算、システム構築方法など。</li><li>・民間企業のオープンデータに関する事例や現状。</li></ul>

## 4. 参加者アンケート結果

<b>オープンデータの活用を検討する際の課題</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自治体に情報の専門家がおらず、オープンデータをどう進めたら良いかわからない。</li><li>・庁内職員や上層部の理解不足。</li><li>・自治体の異なる部署が持つデータが組織間で開示されない。</li><li>・個人情報の取扱い。</li><li>・必要なデータが見つかりにくい、自治体が公開するオープンデータが少ない、公開されるデータが古い。</li><li>・フォーマットの相違、加工が大変。</li><li>・防災・水防情報の利用など自治体間での効用は認められるが、民間活用のイメージが持てない</li><li>・データ利用事例があまりない、費用対効果が見えにくい、マネタイズ出来ない。</li><li>・ビジネスプランが見えない、成功事例の蓄積が必要</li></ul>
<b>今後取り上げて欲しいテーマ</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・オープンデータに関する自治体間の広域連携の可能性。</li><li>・小規模自治体でのオープンデータ推進方法、事例紹介。</li><li>・オープンデータに取り組むにあたり、自治体が抱える課題と、解決した過程。</li><li>・各分野におけるデータの共通化、標準化、プラットフォームの事例。</li><li>・データ活用が進む提供方法（技術的情報）。</li><li>・オープンデータ利用・提供にあたっての危険性と注意点、リスクとその対策。</li><li>・データ活用の為の人材育成。</li><li>・民間企業+行政のコラボの事例。</li><li>・IoTデータの活用、欧米でのスマートシティの取り組み動向、オープンデータと自動運転。</li><li>・ひたすら具体例（成功事例、失敗事例含む）。</li><li>・地域密着型サービス企業におけるオープンデータ等に関する取り組み。</li></ul>



**VLED**

一般社団法人

オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構